



2024年7月10日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

～さまざまな意味を持つ「静物画」に迫る～
東北大学 MOOC 講座
「静物画のスペクタクル ——レンブラントとフェルメールを
中心に「鑑賞者・物質性・脱領域」を考える」
新規開講のお知らせ

【発表のポイント】

- 東北大学オープンオンライン教育開発推進センターでは、「世界と地域に開かれた大学」「市民の知的関心を受け止め、支え、育んでいける教育研究活動を積極的に推進する大学」の実現を目指し、2016年度よりオンライン講座、東北大学 MOOC^(注1)を開講しています。
- 2024年度新規開講講座「静物画のスペクタクル——レンブラントとフェルメールを中心に「鑑賞者・物質性・脱領域」を考える」について、本日7月10日（水）より受講登録を開始します。

【概要】

東北大学オープンオンライン教育開発推進センターは、「世界と地域に開かれた大学」「市民の知的関心を受け止め、支え、育んでいける教育研究活動を積極的に推進する大学」の実現を目指し、2016年度よりオンライン講座、東北大学 MOOC を開講しています。

2024年度の新規講座として、教養教育院 尾崎彰宏 総長特命教授による「静物画のスペクタクル——レンブラントとフェルメールを中心に「鑑賞者・物質性・脱領域」を考える」を開講します。本講座での「静物画」は、いわゆる近代が創りだしたジャンルの枠にとらわれない広い意味をもっています。人であれ事物であれ装飾的に描かれたものを「静物画」として捉えています。この立ち位置から眺めたとき、レンブラントとフェルメールの世界がいかに魅力的であるか、皆さんと一緒に見ていきます。

本日7月10日（水）より受講登録を開始します。ぜひご登録いただき、ご紹介ください。

【詳細な説明】

東北大学 MOOC は、無料オンライン講座プラットフォーム「gacco®（ガッコ）」にて、東北大学で学ぶ高度教養シリーズ第 7 弾「静物画のスペクタクル —— レンブラントとフェルメールを中心に「鑑賞者・物質性・脱領域」を考える」を、2024 年 10 月 9 日（水）より開講します。受講登録は、本日 7 月 10 日（水）11 時より開始します。

■ 講座内容



この講義では、レンブラントとフェルメールに焦点を絞り、「静物画」をキーワードとして考えていきます。普通には「静物画」とは、花や果物などを描いた絵というように理解されていますが、ここでいう「静物画」は、もっと広い意味をもっています。主題としてばかりでなく、人であれ事物であれ装飾的に描かれたものを「静物画」として捉えていきます。そして、この立ち位置からレンブラントとフェルメールの世界を探っていきます。いわば、17 世紀の古典主義によって確立された「歴史画」を頂点とし「静物画」を最下位に置くジャンルという見方を一端括弧に入れ、二人の絵に描かれた人々や事物が宗教的あるいは寓意的なシンボルとしてではなく、対象そのものに魅了され描かれたものであることを浮かびあがさせます。言い換えるなら、モノを観念的にではなく、感性的に捉える態度こそが地上を神の世界とみなす宗教体験ともいうことができます。同時にそれは、新たな現実感覚の誕生でもありました。

■ 講座概要

【講座名】 東北大学で学ぶ高度教養シリーズ「静物画のスペクタクル —— レンブラントとフェルメールを中心に「鑑賞者・物質性・脱領域」を考える」

【講師】 尾崎 彰宏（東北大学教養教育院 総長特命教授）

【講座公開期間】 2024 年 10 月 9 日（水）15:00 ～ 2024 年 12 月 10 日（火）23:59 まで

【受講者募集期間】 2024 年 7 月 10 日（水）11:00 ～ 2024 年 12 月 4 日（水）10:00 まで

【受講費】 無料

※gacco の会員登録（無料）がお済みでない方は、以下より会員登録をお願いいたします。

gacco 会員登録ページ：<https://lms.gacco.org/register>

【受講申込先】 受講方法・受講申込などは、以下のホームページをご覧ください。
https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga193+2024_10/about
※本講座の修了者には、東北大学オリジナルの修了証とオープンバッジが授与されます。

■ 講座詳細

第1週：些細なものに神を感じる——「静物画」の誕生

第1週では、モノに焦点をあてた「静物画」の誕生が、世俗的な傾向が強くなることによるというだけではなく、聖なるものと俗なるものの相反するベクトルの働く場において生まれたことを見ていきます。そこにはどのようなドラマがあったのでしょうか。

- ・ 日常性のパラドックス
- ・ 「絵画の誕生」と「静物画」
- ・ モノの描写がジャンルを横断
- ・ ファン・エイク兄弟の《ヘントの祭壇画》の新しさ
- ・ 「静物画」の誕生
- ・ 《ヤドカリと魔女の習作》
- ・ 《ヤドカリと魔女の習作》から見えてくるもの
- ・ デ・ヘイン2世《ヴァニタスをあらわす静物画》について
- ・ マリーの画家の「聖と俗」、反射像としての自画像
- ・ 逆説の絵画—感性と観念、些細なものとの重大なものとの転倒

第2週：美的テクノロジー——「画家・版画家」レンブラントの芸術的な挑戦

第2週では、主としてレンブラントの銅版画の中にある、一枚の版画にいくつもの形象がまるで習作でもあるかのように描きこまれた作品に静物画にも通じる新時代の芸術生産の在り方を見ていきます。版画を絵画に匹敵する魅力的な商品とする新領域を切り拓き、画家・版画家という新しい顔を見せるレンブラントとは何者なのかを探っていきます。

- ・ イントロダクション
- ・ 「頭部の集合体」に向けられたレンブラントのまなざし
- ・ あらゆる対象のヒエラルキーの消滅—自然描写に重きを置くテクノロジーの性格
- ・ 「静物画的」な版画の購入者トローニー、ザンドラルト
- ・ レンブラントと版画コレクター — 《三本の十字架》《百フルデン版画》
- ・ 芸術作品の未完成
- ・ ピュグマリオン、絵画の擬人像

- ・ レンブラントの版画に見られる「白抜き」の機能
- ・ ハウブラーケンが語るレンブラントの戦略
- ・ 画家・版画家への道

第3週：「黒」の美学——レンブラントとアジア

第3週ではレンブラントの版画のなかにモノクロの織りなす繊細な世界を眺めながら、レンブラントと〈アジア〉について考えてみたいと思います。レンブラントの黒の背景には、版画だからモノクロということではなく、古代ギリシア以来ヨーロッパに伏流する「メランコリー」の思想が反映していることを明らかにします。

- ・ イントロダクション
- ・ レンブラントの変幻する自画像
- ・ イメージからみるオスマン帝国
- ・ オスマン帝国のイメージの変化 ファン・アールスト（1502–50年）
- ・ レンブラントはムガル朝のミニアチュールからなにを学んだのか？
- ・ 《放蕩息子の帰還》に見られる斬新さとは何か？
- ・ レンブラントが和紙を用いた理由は何か？
- ・ 《ヤン・シックスの肖像画》から見えてくるものは何か？
- ・ 黒の効果の深まり—劇的な効果から内面性の表現へ
- ・ 黒と「メランコリー」の関係とは？

第4週：陶磁器の白い輝き——フェルメールからモンドリアンへ

第4週では、17世紀というグローバル化の時代にフェルメールが表現した新しい感性を、その作品にあらわれた「白」に着目して見つめてみたいと思います。白を通して現れるフェルメール芸術は、ヨーロッパとアジアとの出会いの産物であり、新たな芸術の創造を告げる夜明けでもあったことを見ていきます。

- ・ イントロダクション
- ・ 「感性の変化」がオランダにもたらされた？
- ・ 文化の「共振作用」を起こさせる二つの要素とは？
- ・ イコノクラスム（偶像破壊）と白い壁
- ・ フェルメール絵画の空間の特徴は？「見通しの空間」（an Entrance for the Eye）
- ・ 「光の粒」 デルク・ハルスの二枚の絵 そして《眠る女》
- ・ 愛のテーマと遠い世界（アジア）
- ・ 中国磁器への憧れ
- ・ 「静物画」が創りだす新たな美意識
- ・ まとめ

■ 講師紹介



尾崎 彰宏 (おざき あきひろ)

東北大学高度教養教育・学生支援機構 教養教育院 総長特命教授

1983年東北大学文学研究科博士課程後期退学（文学修士）

東北大学文学部助手、弘前大学人文学部教授、東北大学文学研究科教授を経て2021年7月から現職。2016年、阿部次郎文化賞受賞。

専門は西洋美術史。

■ 東北大学 MOOC のシリーズについて

東北大学では、JMOOCにて下記の2シリーズを展開しております。今後も新規開講講座を追加していきます。

また、再開講も随時行っていく予定ですので、ぜひ他講座にもご参加ください。

東北大学サイエンスシリーズ

- ・ 第1弾 解明：オーロラの謎
- ・ 第2弾 東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ
—災害科学の役割
- ・ 第3弾 銀河考古学入門～銀河の形成と進化を辿る～
- ・ 第4弾 進化発生学入門—恐竜が鳥に進化した仕組み—
- ・ 第5弾 放射線安全社会入門～リスクの知見を暮らしに～
- ・ 第6弾 痛みと麻酔科学
- ・ 第7弾 人間脳科学入門
- ・ 第8弾 暗号学の現在—現代暗号入門

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

- ・ 第1弾 memento mori -死を想え-
- ・ 第2弾 男と女の文化史
- ・ 第3弾 家族と民法
- ・ 第4弾 社会の中のAI～人工知能の技術と人間社会の未来展望～
- ・ 第5弾 化粧で学ぶ心理学
- ・ 第6弾 自己理解の心理学
- ・ 第7弾 静物画のスペクタクル——レンブラントとフェルメールを中心に
「鑑賞者・物質性・脱領域」を考える

【用語説明】

注1. MOOC : Massive Open Online Courses の略。Web上で誰でも無料で参加可能な、大規模かつオープンな講義を提供し、修了者に対して修了証を発行する教育サービスです。2012年より米国を中心として、主要大学および有名教

授によるオープンオンライン講座として公開され、世界中で居住地域、人種、言語、年齢等の異なる多様な学習者が受講しています。

【参考】

東北大学オープンオンライン教育開発推進センターウェブサイト

<https://mooc.tohoku.ac.jp/>



【受講登録先】

ドコモ gacco <https://gacco.org/>



【問い合わせ先】

東北大学オープンオンライン教育開発推進センター

担当 三宮、柴田、小林

電話: 022-795-4933

Email: secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp